

一般社団法人長野県原種センター

平成28年度事業報告書

[概 況]

我が国の農業は、国民生活に不可欠な食料等を供給するとともに、地域経済や文化を支え、さらには環境保全等にも役立つ重要な産業であるにもかかわらず、農業労働力の量的・質的な低下、耕作面積の減少、集落機能の低下、輸入農産物の増大、生産資材等の上昇など多くの課題を抱え、農業生産が年々縮減している状況にあります。

政府は農業を成長産業として位置付け、昨年「農業競争力強化プログラム」を決定、農業所得の向上やコスト削減をめざして、農業生産関連事業の環境整備や参入促進のための農業競争力強化支援法などの制度改正を進めています。このような農業・農村政策の見直しに加え、不確実性を増す国際情勢の中TPPやFTAなどの先行きは不透明で、変革期にある農業・農村を取り巻く環境は依然として厳しいものと思われまます。

こうした状況の中、平成28年度の当センターの諸事業につきましては、会員をはじめ関係機関・団体、農業者等のご支援ご協力の下に、職員一丸となって取り組んでまいりました。

主要農作物等の原種・種子生産供給事業につきましては、夏場の高温や秋の長雨の影響によりまして一部品目で計画数量を確保できない状況となりましたが、全体的にはほぼ需要数量を確保することができました。

野菜種子等の生産販売事業につきましては、天候不良で一部減収はあったものの需要に即した数量を確保できましたが、販売面では主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスの需要の減少傾向が続いており、計画・前年を下回る結果となりました。果樹原穂木等の生産販売事業につきましては、新品種に対する県内の旺盛な需要により計画を上回る結果となりました。きのこ母菌等生産販売事業につきましては、第6期事業(平成28～30年)の計画に沿った事業運営と母菌の安全・安定供給ができました。

経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、計画どおりの運用益を確保することができました。

[各部・事業別の実施状況]

1. 総務部

(1) 総務関係

ア 基本財産の運用については、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、長野県信連の定期貯金550万円及び20年利付国債5億円・30年利付国債5億円により、安全かつ効率的な運用に努めました。

また、特定資産等(減価償却引当資産等)その他財産の運用についても、基本財産の運用に準じて、長野県信連の定期貯金及び地方債・政府保証債による運用を行いました。

その結果、どちらも計画どおりの運用益を確保することができました。

イ 公益目的支出計画の実施状況については、次のとおりです。(平成25年度より実施)

- 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売(3事業)

- 27 年度期末公益目的財産残額 2,157,004,565 円
- 28 年度公益目的収支差額(赤字額) △ 36,950,728 円
- 28 年度期末公益目的財産残額 2,120,053,837 円
- 完了予定年月日 平成 109 年 3 月 31 日(残り期間 80 年間)

ウ 固定資産については、耐用年数を超過し老朽化が進んでいた園芸種苗増殖施設(長野市松代町)の給水設備や研究棟(事務所)の外壁等の塗装、また主要農作物等原種生産施設(須崎市八重森)のアスファルト舗装や、業務で使用する農業機械・パソコン等の更新・取得を行いました。

エ 平成 28 年 11 月 21 日に長野県監査委員による「財政的援助団体等の監査」が実施されました。

その結果、指摘事項等はありませんでしたが、「賞与引当金の計上」及び「園芸種子の生産コスト縮減」に関する意見が出され、これに対する措置等について平成 29 年 3 月 27 日開催の理事会において承認をいただき、それぞれ対応することとしました。

オ 主な開催行事

○ 平成 28 年

- 5 月 16 日 平成 27 年度事業及び収支決算監査
- 5 月 19 日 理事会書面決議(事業報告書・貸借対照表等の承認他)
- 6 月 9 日 第 7 回通常総会(事業報告書・貸借対照表等の承認, 役員改選他)
- 〃 臨時理事会(事業実施状況報告他)
- 〃 理事会書面決議(理事長・副理事長・専務理事・常務理事の選定)
- 7 月 1 日 理事会書面決議(役員の補欠・追加選任に伴う候補者の選定他)
- 7 月 12 日 臨時総会書面決議(役員の補欠・追加選任)
- 8 月 5 日 理事会書面決議(副理事長の選定)

○ 平成 29 年

- 3 月 1 日 理事会書面決議(事業計画書・収支予算書の承認他)
- 3 月 27 日 理事会(事業概要報告, 事務局長の選定他)
- 〃 第 8 回通常総会(事業計画書・収支予算書の承認, 理事の補欠選任他)
- 〃 臨時理事会(専務理事の選定)

(2) 遺伝資源等保存事業

ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、受託方式による植物遺伝資源種子及び長野県農業関係試験場からの預かり種子約 3,700 点の保存管理を行いました。

また、長野県の農業関係試験場において新品種の育成等に用いる種子の入出庫を行いました。

イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

2. 農産部

(1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 長野県の主要農作物生産振興方針等に基づく種子生産計画に連動した原種生産計画を策定し、直営及び栽培管理委託を含め厳正な管理のもと高品質原種生産に努めました。

また、原種生産ほ場におけるほ場審査及び現地指導会のほか、生産後の反省検討会の開催により栽培管理受託者の技術向上に努めました。

品質管理においては、生産した9品種・13点についてDNA分析による品種鑑定を行い、純度の高い原種供給に向けた取り組みを行いました。

イ 水稲は、生産面積207aを設置し、直営・栽培管理委託による生産を行った結果、計画比90%の9.0tを確保し、備蓄原種を含め8.5tの供給を行いました。

麦は、生産面積162aを設置し、直営・栽培管理委託による生産を行った結果、計画比114%の6.8tを確保し、備蓄原種を含め6.8tの供給を行いました。

大豆は、生産面積130aを設置し、直営・栽培管理委託による生産を行った結果、計画比106%の2.0tを確保し、備蓄原種を含め2.0tの供給を行いました。

そばは、生産面積320aを設置し、栽培管理委託による生産を行った結果、計画比72%の2.1tを確保し、備蓄原種を含め2.0tの供給を行いました。

ウ 主要農作物原種全体では、生産は計画対比96%、供給は前年対比99%となり、いずれの品目も種子生産計画に基づく供給ができました。

(2) 主要農作物種子生産事業

ア 主要農作物の生産振興方針と需要動向に即した種子生産計画を策定し、長野県、JA全農長野、種子場JA及び関係団体との連携のもと、種子の生産確保を行いました。

採種技術研修会や採種ほ現地指導会を開催し、生産者の意識の高揚を図るなど高品質種子の生産に努め、また作柄調査等により種子生産見込量の把握を行い、需要数量の確保に努めました。

その他、自然災害等の緊急時の対応と種子の安定供給のため、延べ水稲102t・麦121t・大豆21t・そば4tの種子備蓄を行い、一部を活用しました。

イ 水稲

田植機以降8月中旬まで平年と比べ高温で推移し、日照時間も多かったこともあり、県下各地の出穂期は平年より1～6日程度早まりました。その後は9月中旬の前線の停滞や台風16号により降雨が続いたことから、全県の収穫盛期は平年より3日遅れとなりました。こうした生育経過のなか、県下の作況指数は平年並みの101となりました。

種子生産については、茎数不足や収穫時期の長雨による穂発芽の発生などから、一部の品種において契約数量未達となり、生産計画1,225tに対して1,203t(計画対比98%)の確保となりました。

ウ 麦

播種期から11月まで高温傾向で推移したため、生育が前進し過繁茂傾向となりました。2月中旬以降も高温傾向で生育が進んだことから、大麦は4月中旬、小麦は4月末

から5月中旬に出穂期を迎え、平年より7～10日程度早まり、収穫時期も5～10日程度早まりました。5月中旬は風の強い日が多く、県下の広い範囲で小麦にさび病が多発し、防除を実施しないほ場では品質低下が見られました。平均収量比では大麦で100%、小麦で97%となりました。

種子生産については、本年産から糯性大麦「東山皮糯109号」(ホワイトファイバー)の採種を開始し、また品種転換等の動向を踏まえ、買増しや転用による種子確保を行った結果、生産計画263tに対して276t(計画比104%)の確保となりました。

エ 大豆

播種期以降、初期生育は天候にも恵まれ全体的に順調に推移し、着莢も良好となりました。8月に入り、地域によっては高温・干ばつ傾向となり、収量への影響も懸念されましたが、大きな問題とはなりません。気象により水稻やそばの収穫が遅れたことや、度重なる降雨により水分の抜けが悪く、収穫作業は遅れましたが、平均収量比では105%となりました。

種子生産については、一部の品種で契約数量を下回ったものの、全体では生産計画64tに対して68t(計画比107%)の確保となりました。

オ そば

夏そばは、播種後の湿害もなく、また生育期間中の気温も平年を上回り順調に経過したことから、契約数量を確保できました。

秋そばは、播種後の出芽は良好で、その後も高温で経過したことから生育は旺盛となり、草丈が長くなりました。しかし9月中旬以降のまとまった降雨や台風の影響による倒伏や稔実不良の発生により、3年連続の低収となり、平均収量比では73%となりました。

種子生産については、「長野S8号」では種子需要動向を踏まえ、転用種子も含めた数量の確保に努めましたが、「信濃1号」は大幅な低収により、転用種子の確保も困難な状況となったため計画数量の確保ができず、そば全体では生産計画37tに対して25t(計画比67%)の確保となりました。

カ 主要農作物種子全体では、計画対比98%の確保となり、水稻・麦・大豆については、需要を踏まえた種子の確保ができました。

3. 園芸部

(1) 野菜等種子生産事業

ア 委託採種者の高齢化に対応するため、試験研究機関・関係団体の指導協力を得て、採種技術研修会や現地検討会を開催し、新たな採種農家の育成を図りました。

また、野菜等種子の安定生産に向けた採種技術の確立を進めるとともに、直営採種事業への取り組みを強化し、安定採種に努めました。

イ キャベツについては、直営温室採種で開花期間中の低温によりやや受精不良となりましたが、委託採種では越冬後以降の天候に恵まれ、開花期間中も受精良好で増収となったことから、計画対比103%の生産となりました。

ウ 野沢菜については、一部ほ場で脱穀時期の長雨の影響による品質低下が発生したものの、開花期間中の天候に恵まれ、受精良好により増収となり、計画対比 112%の生産となりました。

エ レタスについては、一部ほ場で病気の発生がみられたものの、開花から登熟期の天候に恵まれたことや採種技術の改良により、計画対比 101%の生産となりました。

オ 野菜等種子全体では、研修会の開催や現地巡回指導等を通じて採種技術の向上に努めた結果、備蓄種子を合わせ概ね計画を上回る数量の確保となりました。

(2) 野菜等種子販売事業

ア キャベツについては、即戦力となる有望後継品種がない状況から減少傾向が続いており、また野菜販売価格の持ち直しはあったものの、高齢化や大手種苗会社による新品种の販売攻勢等により前年に引き続き苦戦を強いられました。

イ レタスについては、中信地域を主とするレタス根腐病(レースⅠ)抵抗性品種の「シナノホープ」や、東信地域を主とする晩抽性が強く形質の優れた品種である「サマーエース」、レタス根腐病(レースⅠ・Ⅱ)複合抵抗性品種の「シナノパワー」などは会員・生産者から引き続き評価をいただきましたが、大手種苗会社による根腐病(レースⅡ)耐病性新品种の販売攻勢等により、全体では大幅な減少となりました。

ウ 野菜等種子全体では、主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスのうち、野沢菜・レタスの需要が大幅に減少していることから、計画対比 55%、前年対比 81%の販売となりました。

(3) 野菜等苗生産販売事業

ア イチゴ原苗については、直営増殖に対する会員・生産者からの安定的な需要があり、計画対比 111%の販売となりました。

イ わさび苗については、わさび需要の減少により販売数量は年々減少しておりますが、安定生産・供給に向けて原原苗を更新するなど、高品質苗の生産に取り組んでいることから、計画対比 122%の販売となりました。

ウ 野菜等苗全体では、計画金額比 112%の販売となりました。

(4) 果樹原穂木等生産販売事業

ア 果樹原穂木については、当センター母樹園での長野県職務育成品種及びウイルスフリー品種の生産及び安定供給に努めました。

イ 果樹種苗事業全体では、りんご新品种「リンゴ長果25」(シナノリップ)やワインブドウ用台木の原穂木需要の増加により、計画対比 118%の販売となりました。

(5) 園芸種苗事業全体では、計画対比 61%、前年対比 83%の販売となりました。

(6) きのこと母菌等生産販売事業

ア 「第6期(平成28~30年度)きのこ原種菌生産供給事業」の計画内容に基づき、製造等業務委託先である長野県農村工業研究所をはじめ、JA全農長野及びJA種菌センターと連携を図り、また長野県野菜花き試験場菌茸部の協力を得るなかで、高品質母菌の安定供給に努めました。

また、事業運営については、母菌の販売代金に加え、県からの助成やJA全農長野及び各JAからの受託料・負担金により、円滑に行うことができました。

イ 生産した母菌について、JA種菌センター、野菜花き試験場及び農家によるモニター栽培を実施し、生産現場に近い栽培環境下において母菌の変異・異変の情報を早期に把握し対応するなど、母菌の品質管理に努めました。

ウ えのきたけ母菌については、長野県農工研育成の「G-6号」や「iQ2」、野菜花き試験場育成の「長菌17号(シナノアーリー)」の生産を行い、1,239本を販売しました。

また、ぶなしめじ母菌については、長野県農工研育成の「NN-11・12」の生産を行い、852本を販売しました。

その他、野菜花き試験場育成のバイリング「シナノ淡雪」を合わせ、母菌全体では2,095本を生産・販売し、計画数量比97%・計画金額比97%となりました。

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または販売を行う種苗について、気象災害や不慮の事故により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の積立て及び積立金より補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の積立て 31,057,186円

(2) 補填金の支払い

ア 主要農作物種子共助 295,809円
供給された水稲種子及び麦種子の再調製・交換等に係る付帯費用補填

イ 主要農作物種子残量処理 70,462,115円
水稲種子及び大豆種子の残量処理にともなう差損補填

ウ 計 70,757,924円

[事業報告書 別表]

平成28年度種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稻原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数量	計画比	数量	
う る ち	コ シ ヒ カ リ	kg 6,480	kg 6,480	% 100	kg 6,228	供給実績は備蓄原種の供給を含む
	あ きた こ ま ち	960	960	100	920	
	ひ と め ぼ れ	0	0	—	168	
	ゆ め し な の	240	130	54	30	
	き ら り ん	240	190	79	31	
	天 竜 乙 女	0	0	—	65	
	ふ く お こ し	0	0	—	40	
	風 さ や か	480	480	100	324	
(小 計)	8,400	8,240	98	7,806	飼料イネ	
も ち	カ グ ヤ モ チ	290	140	48		79
	オ ラ ガ モ チ	0	0	—		20
	も ち ひ か り	480	290	60		160
	モ リ モ リ モ チ	190	110	57		81
(小 計)	960	540	56	340		
酒 米 (醸造用米)	美 山 錦	580	260	44		289
	ひ と ご ご ち	0	0	—		94
	金 紋 錦	0	0	—		20
(小 計)	580	260	44	403		
合 計	9,940	9,040	90	8,549		

(2) 麦原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数量	計画比	数量	
大 麦	ファイバースノウ	kg 450	kg 475	% 105	kg 500	供給実績は備蓄原種の供給を含む 出願名称:ホワイトファイバー
	シ ュ ン ラ イ	450	500	111	1,080	
	東山皮糯109号	630	540	85	450	
	(小 計)	1,530	1,515	99	2,030	
小 麦	ハ ナ マ ン テ ン	1,050	1,400	133	1,070	
	シ ラ ネ コ ム ギ	700	700	100	700	
	し ゅ ん よ う	1,050	1,200	114	920	
	ユ メ セ イ キ	980	1,350	137	540	
	ゆ め か お り	700	700	100	549	
	ゆ め き ら り	0	0	—	1,080	
(小 計)	4,480	5,350	119	4,859		
合 計	6,010	6,865	114	6,889		

(3)大豆原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
大豆	すずろまん	75	200	266	97	供給実績は備蓄原種の供給を含む
	ギンレイ	150	150	100	200	
	ナカセンナリ	1,050	1,050	100	1,090	
	つぶほまれ	225	225	100	174	
	すずほまれ	450	450	100	465	
合計		1,950	2,075	106	2,026	

(4)そば原種

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給実績	備考
			数量	計画比	数量	
そば	蕎麦信濃1号	2,000	1,170	58	1,260	供給実績は備蓄原種の供給を含む 商標:信州ひすいそば
	タチアカネ	140	135	96	135	
	長野S8号	800	801	100	675	
合計		2,940	2,106	72	2,070	

2. 主要農作物等種子

(1)水稲種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
うるち	コシヒカリ	906,720	896,100	98	780,800	供給数量は備蓄種子の供給を含む 飼料イネ
	あきたこまち	141,500	127,560	90	105,364	
	ひとめぼれ	20,640	20,640	100	14,076	
	ゆめしなの	5,180	5,180	100	3,452	
	きらりん	5,180	5,180	100	2,076	
	天竜乙女	9,600	9,600	100	5,640	
	ふくおこし	7,200	8,000	111	6,696	
	風さやか	37,440	37,440	100	34,500	
(小計)	1,133,460	1,109,700	97	952,604		
もち	カグヤモチ	10,800	10,800	100	4,604	
	オラガモチ	3,120	3,120	100	1,320	
	もちひかり	21,160	21,160	100	16,588	
	モリモリモチ	5,400	6,000	111	5,788	
(小計)	40,480	41,080	101	28,300		
酒米 (醸造用米)	しらかば錦	960	960	100	924	
	美山錦	38,400	38,880	101	36,144	
	ひとごごち	9,600	10,340	107	9,988	
	金紋錦	2,400	2,400	100	2,312	
(小計)	51,360	52,580	102	49,368		
合計		1,225,300	1,203,360	98	1,030,272	

(2) 麦種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
大 麦		kg	kg	%	kg	供給数量は備蓄種子の供給を含む 出願名称: ホワイトファイバー
	ファイバースノウ	22,500	21,550	95	21,525	
	シュンライ	47,250	57,675	122	58,000	
	東山皮糯109号	18,000	15,125	84	15,125	
(小計)	87,750	94,350	107	94,650		
小 麦	ハナマンテン	31,500	32,010	101	26,220	
	シラネコムギ	24,510	25,230	102	18,990	
	しゅんよう	34,500	40,500	117	37,470	
	ユメセイキ	23,820	24,000	100	18,210	
	ゆめかおり	19,260	18,180	94	18,090	
	ゆめきらり	42,000	42,000	100	42,540	
(小計)	175,590	181,920	103	161,520		
合計		263,340	276,270	104	256,170	

(3) 大豆種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
大 豆		kg	kg	%	kg	供給数量は備蓄種子の供給を含む
	すずろまん	600	580	96	580	
	ギンレイ	7,500	7,380	98	4,420	
	ナカセンナリ	38,580	43,260	112	42,300	
	つぶほまれ	4,360	4,510	103	5,450	
すずほまれ	13,080	13,240	101	11,280		
合計		64,120	68,970	107	64,030	

(4) そば種子

種類	品種名	生産計画	生産実績		供給数量	備考
			数量	計画比		
そ ば		kg	kg	%	kg	供給数量は備蓄種子の供給を含む
	しなの夏そば	2,000	2,025	101	2,025	
	蕎麦信濃1号	25,000	13,365	53	13,500	
	タチアカネ	1,755	990	56	1,328	
長野S8号	8,483	8,663	102	5,468	商標: 信州ひすいそば	
合計		37,238	25,043	67	22,320	

3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
		ℓ	%	ℓ	%	千円	%
キャベツ	Y R S E 他	167.9	103	59.6	70	10,947	72
野沢菜	ニューシナノ他	340.3	112	203.1	46	1,976	51
レタス	シナノホープ他	133.1	101	54.6	43	19,119	43
パセリー	洗馬系	38.8	485	32.8	109	815	110
だいこん	戸隠おろし他	21.3	69	12.2	49	412	50
トマト	なつのしゅん他	16.5	110	17.2	52	3,667	50
ピーマン	ベルホープ他	46.9	213	31.1	78	6,481	74
アスパラガス	ずっとデルチェ他	18.4	153	3.5	117	435	109
えんどう	さやたろう	0.0	—	10.7	107	45	113
色大豆原種	華大黒他	992.3	88	1,045.5	93	1,295	92
(小計)		1,775.5	98	1,470.3	76	45,192	55
		ml	%	ml	%	千円	%
トルコギキョウ	長花交35号他	0.46	15	0.46	15	12	17
		g	%	g	%	千円	%
せんぶり	みまき1号他	585	130	585	130	126	126
合 計						千円 45,330	% 55

4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
			本	本	%	千円	%
イチゴ原苗	サマープリンセス他	鉢苗	17,924	17,924	105	5,366	111
わさび	長・野23号	プラグ苗・鉢苗	10,080	10,080	123	1,366	122
採種用原苗	レタス他	鉢苗	2,661	2,661	95	115	96
合 計			30,665	30,665	110	6,847	112

5. 果樹原穂木他

種 類		品 種	生産実績	販 売 実 績			
			数 量	数 量	計 画 比	金 額	計 画 比
原 穂 木 穂 木	りんご な ぶ ど う も ネ ク タ リ ン プ ル ー ン あ ん ず す も も ぶ ど う 台 木 他	シナノスイート他	kg 134.5	kg 134.5	% 149	千円 1,019	% 142
		サザンスイート他	1.5	1.5	75	11	73
		ナガノパープル他	0.0	0.0	—	0	—
		な つ っ こ 他	8.0	8.0	200	50	208
		サマークリスタル	0.0	0.0	—	0	—
		サマーキュート他	2.5	2.5	125	19	127
		信州サワー他	3.5	3.5	88	7	58
		スモモ長果1 (出願名称:シナノパール)	0.0	0.0	—	0	—
5 B B 他	159.0	159.0	159	601	160		
(小 計)			309.0	309.0	149	1,707	142
果樹証紙			枚 83,100	枚 83,100	% 111	千円 2,391	% 105
合 計						千円 4,098	% 118

6. きのこ母菌他

種 類		品 種	生産実績	販 売 実 績				
			数 量	数 量	計 画 比	金 額	計 画 比	
母 菌	えのきたけ	長野農工研G-6号	本 346	本 346	% 83	千円 1,347	% 83	
		長野農工研iQ2	595	595	109	2,317	109	
		長 菌 1 7 号 (出願名称:シナノアーリー)	298	298	87	1,160	87	
		計	1,239	1,239	95	4,824	95	
	ぶなしめじ	N N - 1 1	52	52	100	202	100	
		N N - 1 2	800	800	99	3,115	99	
		計	852	852	99	3,317	99	
	エリンギ (バイリング)	シナノ淡雪	4	4	—	16	—	
	合 計			2,095	2,095	97	8,157	97